

「二学期終業式あいさつ」

みなさん おはようございます。行事のたくさんあった二学期も今日で終わりです。校長先生は、今日担任の先生から渡されるみなさんの通知表551人分に目を通しました。担任の先生が一人一人の顔を思い浮かべながら、みなさんが嬉しくなったり、元気になったり、やる気を持つような言葉を考えてくれました。勉強、係活動、漢字・計算大会、運動会、持久走大会、駅伝大会、金管バンドなどたくさん頑張ったことが書いてあり、とても嬉しく思いました。また、ふだんの学校生活の中で、「困っている友だちにやさしくできた」・「掃除や給食当番や係活動に一生懸命取り組めた」・「相手よりも先に自分から進んで挨拶ができた」など、自分の素直な心を態度に表すことができたという人も増え、とても嬉しかったです。中には、「もっとこうするといいいよ。」と言う内容もありましたが、お家の人と一緒によく考えてさらに成長してくれることを願っています。みなさん一人一人が、本当によく頑張った二学期だったと思います。この後渡される通知表を楽しみにして下さい。



さて、今日は終業式ですが、特別な日でもあります。何の日でしょうか？（子どもたちから「とうじ〜」の声）その通りです。一年の中で昼間の時間が一番短い日と言われています。昔は、冬至の次の日からを一年の始まりとしていたそうです。そして、「新しい年が健康で過ごせますように」と言ってお祝いをしました。そのとき何か野菜を食べてお祝いをしたそうですが、一体何を食べたのでしょうか？（「かぼちゃ〜」の声）その通りです。夏にとれたかぼちゃを冬至の日まで大切にとっておいて、お祝い用として食べたそうです。また、冬至の日は、体の汚れを取り体を清めるためにお風呂に入りましたが、その時、お風呂にあるくだものを入れたそうです。いったい何を入れたのでしょうか？（「ゆず〜」の声）その通りです。みなさん、良く知ってますね。ゆず特有の香りと果汁が体を清めるということでお風呂に入れたそうです。その習慣が今でも残っています。ひょっとしたら、みなさんの中には、かぼちゃを食べたり、ゆずが浮かんでいるお風呂に入ったりした人もいられるかもしれません。



このように昔は冬至を過ぎると新しい年がスタートしました。みなさんにとっては、いよいよ明日から冬休みが始まります。そこで、冬休みを楽しく健康に過ごすために、これを作って欲しい欲しいと思います。それは、「目標です」。この目標というのは、みなさんを成長させるための目印のことです。例えば、冬休みは、「なわとびを100回跳ぶ」「日記をつける」「自主学習を毎日やる」「冬休みの宿題は年内に終わらせる」「一日一回はお家のお手伝いをする」と言ったことです。また、年が明けて3学期からは、「係活動がんばる」「漢字や計算練習を毎日やる」「進んで手を挙げる」といったことが挙げられます。



実は、この目標を立てる時のヒントはみなさんのすぐそばにあります。それは、通知表です。通知表には、担任の先生が書いた「こうするとともに良くなるよ」といったことが書いてあります。そのことを目標にするのも良いと思います。是非、目標を作って冬休みを過ごして欲しいと思います。校長先生も、毎年1月1日は、5年生が林間学校で利用する東毛青少年自然の家にある茶臼山という山に登って、初日の出を見ながら、自分の立てた目標が叶うようお願いをしています。



それでは、みなさんも、是非、冬休みや三学期の目標をしっかりとたて、事故やけがのないように過ごして、三学期が始まる1月9日に551人のみなさんと元気な笑顔で会えることを楽しみにしています。

以上で、校長先生の話が終わります。